

学校運営協議会（第1回）議事録

校名	府立泉北高等支援学校
校長名	池田 かおり

開催日時	令和5年7月14日（金）15：30～17：00
開催場所	大阪府立泉北高等支援学校 集会室
出席者（委員）	中島 康明（会長） 早川 泰史（副会長） 魚住 敦子（委員） 樋上 一真（委員） 徳 和則（委員） 高本 真理子（委員）
出席者（学校）	池田 かおり（校長）前田 優（教頭）宮園 菜穂美（事務長） 米田 拓朗（首席） 百田 千代（首席） 上野 浩嗣（教務部長） 河上 万樹子（進路指導部長） 緒方 美香（研究研修部長・指導教諭） 河村 真司（生徒指導部長） 伊東 みずき（環境保健部長） 境 翔太（情報文化部長） 奥田 芳郎（1年学年主任）井本 真（2年学年主任）升元 康雄（3年学年主任）
傍聴者	なし
協議資料	委員会名簿 次第 令和5年度採択教科書一覧表 令和5年度学校経営計画及び学校評価
備考	

議題等（次第順）
<ul style="list-style-type: none"> (1) 校長挨拶 (2) 学校運営協議会実施要綱について 運営協議会会長選出 (3) 会長挨拶 (4) 今年度の学校経営計画について (5) 各学年の生徒の活動の様子について (6) 今年度の採択教科書について (7) 質疑応答・意見交換 (8) 会長まとめ (9) 今後の予定
協議内容・承認事項（説明・意見の概要）
<ul style="list-style-type: none"> (1) 校長挨拶 (2) 学校運営協議会会長選出 (3) 会長挨拶 (4) 今年度の学校経営計画について 校長より説明→承認 (5) 各学年の生徒の活動の様子について 各学年主任よりスライドを使用して様子を伝達 (6) 今年度の採択教科書について 教務部長より説明→承認

(7) 質疑応答・意見交換

- ・2月の協議会でも、目標値が高いとお伝えしたところ。働き方改革をどのように進めていくのか。
ノー会議デー、ノー残業デーはあるのか。
→水曜日に合わせて実施している。今年度から始めている。
- ・先生方の働き方改革と目標値の高さの兼ね合いはどうかを聞きたい。
→制度的な改革も進んではいる。
- ・生徒の様子のスライドを見せていただき、子ども達の成長を実感しうれしく思う。本校は小中学部しかない。どのような力をつけていけばよいか、校内で話し合っている。大半の子ども達が泉北高等支援学校に進学する。子ども達は楽しみにしている。ワークライフバランスについては本校でも実践中であるが難しいと思って聞いていた。学級経営と分掌業務における役割分担についてはどのように行っているのか。
→教員数が限られている中で、校務分掌の内容は整理しつくされている。分掌もクラス運営も中心になってやらなければならない。分散させる方がよいのではないか。担任の中で主となるクラスコーディネーターを指名している。日々の対応、線引きが難しいところである。年度末にむけての課題ととらえている。他の課題ともリンクしている。
- ・役割を明確にして先生方の個性、良さを積極的に生かしていく。小規模校ではリーダーシップをとる人が十分な経験をつまないうちにやらざるを得ないことはある。業務を明確化していくことが必要。担任が複数になると役割が固定化していく。リーダーを交代していくことも有効ではないか。
- ・障がい者雇用の雇用率が緩和する方向になる。企業も仕事の内容を障がいのある方にあわせるように考えていく方向になっている。その中で、強みはどうかをアセスメントしている。「就労支援のためのアセスメントシート」というものが作業の種目を考える上で参考にあるのではないか。就労後の定着も課題である。卒業後の支援はどのように行っているのか。
→卒業後1年はアフターケアを行っている。企業就労の卒業生はエマリスさんとも一緒に支援している。初年度は特に丁寧に実施している。
- ・就労1年めの方の定着支援を支援学校と一緒にできることは非常に心強いと考えている。先生方に関わっていただくケースは定着につながっている。
- ・初めての参加だったが、生徒さんの生き生きとした活動をみせてもらって元気をもらった。先生方の健康が子ども達の健康につながっている。自立、ひとりだちすることが学校の中の大切な価値になっている。自立の前に「つながり」があることが大切であると感じた。
- ・いろいろな学年の活動について知ることができよかったと感じている。人権の取り組みでは生徒に対して具体的にどのようなことを指導しているのか。
→1学期はHRの時間を使って、SNSの使い方などを学習した。教材には写真などが入った、わかりやすい資料を使っている。2、3学期も計画を立てている。
- ・社会に出て豊かな人生を送ることをめざすことが主たる目的だと思うが、卒業してから仕事を続けるにあたっては助けてほしいという声があるのか。
→仕事があわない、人間関係がうまくいかないなどという相談がある。
- ・どのようなアドバイスをしているのか。
→できるだけ現状を聞き、計画相談の方へつなげる。支援者同士、関係機関をつなげるようにしている。
- ・一緒にいくなど、同行することはあるのか。
→企業の場合は卒業後でもアフターフォローとして同行することはある。エマリスさんとも連携している。

・重層的な支援を堺市でも進めているところ。それぞれのケースや課題にあわせて進めていっていただきたい。不安が解消できるようにしてあげてほしい。

(8) 会長まとめ

教育課程の見直しについてはできるだけ少ない人数で決めて進めていくほうがよいのではないか。新しい先生が着任した時もすぐに取り組んでいけるようにしていく。2月までに職業科の作業種目を考えて整理していかれるとのこと。頑張ってもらいたい。

(9) 今後の学校運営協議会予定について
次回の予定について